

## 令和3年度第3回伊勢市総合計画審議会 議事要録

◆日時 令和3年10月12日（火）19：00～20：30

◆会場 いせ市民活動センター北館（シティプラザ）2階多目的ホール

### ◆出席委員

杉山 謙三委員、藤本 美保子委員、山田 純也委員、竜田 和代委員、宮崎 吉博委員、永井 正高委員、森口 留美子委員、酒徳 雅明委員、村田 典子委員、村田 久美委員、西村 幸泰委員、伊藤 良栄委員、水谷 賢委員、齋藤 平委員、森田 道子委員

### ◆出席職員

情報戦略局【情報戦略局長、情報戦略局次長、企画調整課課長補佐】

環境生活部【環境生活部長、環境生活部参事】、教育委員会事務局【事務部長】

健康福祉部【健康福祉部長】、危機管理部【危機管理部長】

産業観光部【産業観光部長】、都市整備部【都市整備部長】

総務部【総務部長】、上下水道部【上下水道部長】、消防本部【消防長】

### ◆議事概要

#### 1 第3次伊勢市総合計画中期基本計画案について

- ・第3次伊勢市総合計画中期基本計画案について、事務局より説明

#### 《意見・質問など》

※以下の要録は、事務局により要旨を編集したものです。微妙なニュアンス等が表現されておりませんので、ご了承ください。

#### ■全般■

- ・コロナの影響等についての記載が、多くの分野にある。整理方法について一考を。
- ・コロナの中間総括（感染者増減の要因分析等）を計画上で示しては。  
→今後審議会でお示しする「まちづくりの主要課題」を整理する中で検討してまいりたい。

#### ■分野1 自治・人権・文化■

##### 【施策3 人権尊重・男女共同参画】

- ・目標指標「市の審議会、委員会などへの女性の登用率」を設定しているのであれば、現況・課題・方向性に「意思決定過程への女性参画」について明記を。
- ・目標指標の表記について、統一を。  
→表記のバラつき等について、再度点検し修正します。
- ・今後4年間の方向性として、男女共同参画社会の実現という記載に対して目標指標「市の審議会、委員会などへの女性の登用率」を設定しているが、女性だけが頑張らないといけないのではなく、男性が家事・育児する等、女性が参画できる環境づくりが大切である。そのような観点から指標の設定を検討しては。

## ■分野2 教育■

### 【施策1 学校教育】

- ・GIGAスクールについて、家庭環境によるデジタル格差が危惧されている。
- ・GIGAスクール等によって個別最適化が図られている。他方で、教育において集団性を育むことも大切なことである。

## ■分野3 環境■

### 【施策2 環境保全】

- ・勢田川の水質汚濁の要因は生活排水か？  
→そのとおり。

## ■分野4 医療・健康・福祉■

### 【施策2 地域福祉】

- ・目標指標「暮らしの中で困りごとがあったとき相談するところがある市民の割合」について、目標値が令和7年度まで90%の現状維持としている意図は？  
→90%という比較的高い水準を維持していきたいというねらいから設定したが、ご意見を受けて再考したい。
- ・福祉生活相談センターの設置など、相談機能を充実させている中で施策の効果が現れない指標・目標値となっているため、検討を。
- ・目標指標「住民主体の集いの場の担い手の養成数」にある「住民主体」とは、地域コミュニティが主体となっているものか。  
→まちづくり協議会や老人会など多様なケースがある。

### 【施策3 共生】

- ・目標指標「障がいの有無に関わらず、誰もが暮らしやすいまちであると感じている市民の割合」について、指標の伸び率が控えめとなっている。
- ・どのような取り組みをしているのか情報が届いていない部分もあるのでは。周知・啓発方法に工夫を。
- ・障がいへの理解を促す取組も大切なことであるが、「親亡き後」問題等、障がい者が実際に生活している上でのニーズにも計画上で触れて欲しい。

### 【施策4 子育て支援】

- ・目標指標「伊勢市は子育てしやすいまちであると感じている市民の割合」について、人口減少の中で子育てしやすいまちであると感じてもらえる取組の成果が分かりやすい指標を。

### 【施策5 高齢者福祉】

- ・「地域包括ケアシステム」については、高齢者に限らず、障がい者、子ども等にも共通しており、重要なことである。

- ・新型コロナウイルス感染症による影響等、全体での整理、または、分野における整理を。

## ■分野5 防災・防犯・消防■

### 【施策1 防災・減災】

- ・目標指標「避難所運営マニュアル策定の地域数」について、1年に2地域ずつ進めていく目標となっているが、意図は。力を入れて集中的にやる年があってもいいのでは。  
→地域が主体となって進めていただくものであるが、理解を得るのに時間がかかる部分がある。過去実績を踏まえ、目標値を設定した。
- ・避難所マニュアルの策定について、地域はどうしたらいいかわからない。経験のある県職員が他事例を参考に策定を進めた地域の例もある。今あるものを公開するなどして作りやすい環境を整えては。
- ・まちづくり協議会間で温度差がある。格差を埋めることが大切。ある分野に特化しすぎているまちづくり協議会もあるように感じる。まちづくり協議会の活動における個々の分野に対する一定の水準の確保、活動の広がりやバランスに対する指導を。

## ■分野6 産業・経済■

### 【施策1 農林水産業】

- ・目標指標「担い手の農地利用集積率」は適切な指標である。
- ・関連するSDGsのゴールとして「飢餓をゼロに」の記載があるが、関係性が薄いように感じる。
- ・カーボンニュートラルの観点からも、地産地消の強化をしていただきたい。
- ・目標指標「担い手の農地利用集積率」について、実感として農地は減っているように感じる一方で、本当に集積率が高まるのか疑問である。  
→「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」において定めている指標で、令和13年度の目標値を45%としている。調査により実態を把握しながら進めてまいりたい。
- ・「食育推進計画」について、教育分野との連携を推進していただきたい。  
→次期計画の策定の際には、そういった点を意識して策定してまいりたい。

### 【施策2 商工業】

- ・今後4年間の方向性に創業支援に取り組む旨の記載がある。方向性の記載に合わせて創業支援に関する目標指標の設定を検討していただきたい。  
→課題・方向性に記載している内容と目標指標の整合を図ります。

### 【施策4 就労・雇用】

- ・人口減少・流出の原因として、働く場がないことが挙げられる。目標指標は「伊勢公共職業安定所管内の有効求人倍率」であるが、若者が伊勢に戻って就労出来るような取組が必要であり、そのような点に着目した指標の検討を。  
→南三重地域で連携し、企業への働きかけ、マッチングの仕組みづくりなどの取組を

行っている。

## ■分野7 都市基盤■

### 【施策4 住環境】

- ・目標指標について、令和5年度からの目標値設定となっているが、なぜか。  
→現在策定を進めている「第2期伊勢市空家等対策計画」に設定予定の指標を反映したものであるが、表記方法について再度検討したい。

## ■分野8 市役所運営■

### 【施策1 行財政運営】

- ・人口減少・財政難の中で近隣市町との広域連携が重要となっている。そういった視点を記載しては。  
→定住自立圏で連携している市町をはじめ、それ以外の地域との連携も盛り込みたい。
- ・目標指標「オンライン化手続き数」について、手続き数とは利用できるメニュー数ということか。  
→「手続き数」の表記はわかりにくいため、表記の変更を検討します。
- ・目標指標「市から提供されている情報がわかりやすいと思う割合」について現状維持の目標値としている意図は。  
→再度検討します。
- ・目標指標「将来負担比率」について、前期基本計画の目標指標「経常収支比率」から変更した意図は。  
→「経常収支比率」は今の状況を、将来負担比率は今後の財政負担を表す指標である。財政状況全体を見る指標としてより適していると考えているが、再度検討したい。

### 【施策2 行政組織力】

- ・新型コロナウイルス感染症等の感染症発生時における業務継続に関する記載が必要では。